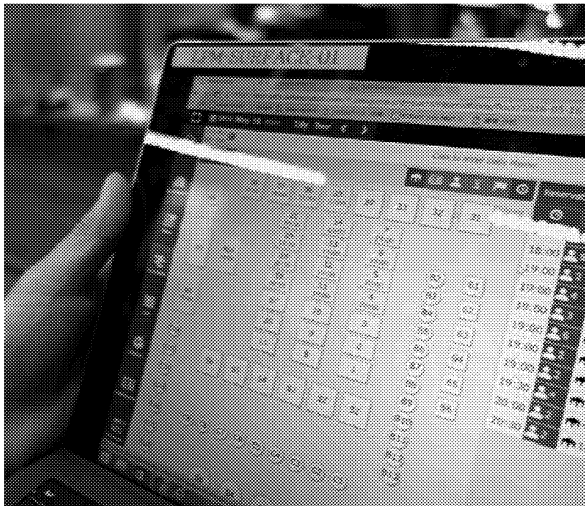


# 空席情報、いつでも最新

飲食店向け予約管理システムを手掛けるV E S P E R (ベスパ、東京・中央) は、今夏にも一般消費者向けの予約サイトを開く。店向けの管理システムと連動し、最新の空席状況を反映できる。利用客は店に行く10分前の間際でもネットから予約できるようになる。飲食店は電話で予約を受ける負担を減らし、機会損失も抑えられる。



## 入店直前 スマホで席確保

今夏をメドに予約サイト「テーブルチェック」を開発する。同社の予約管理システム「テーブルソリューション」を導入した飲食店約1000店を紹介し、予約申し込みを受け付けられるようにする計画だ。

客席ごとに何時から何人の客の予約が入っているか把握できる

たりと細かな予約管理の映される。ルールにも対応できる。例えば10席の空席がある状況で電話予約で2席トを活用している場合でも、当日予約は電話での問い合わせしか対応して席状況を予約サイトに反映させようと思うと大変な手間がかかる。営業時間中に、情報の更新作業に人手を割くのはほぼ不可能なためだ。

サイトは外国人向けに英語など8カ国語の言語に表示を切り替えられる予定で、訪日外国人客の取り込みも期待できる。「テーブルソリューション」の利用料は1店舗あたり月1万2000円(英語など8カ国語の言語2万円)。「テーブルチェック」の追加料金は必要ない。利便性の高い予約サイトの仕組みを提供し、管理システムの顧客拡大につなげる。

飲食店の予約管理はただ台帳などが中心で、システムで管理されていない場合が多い。同社のテーブルソリューションを導入すれば「食ベログ」や「ホットペッパー」など各予約サイトからの申し込み情報を一括管理できる。予約客を割り当てるテーブルの順番をあらかじめ決めたり、一定時間内の来店客数の上限を設定でき

新たに開発したテーブルチェックには、テーブルの作業負荷も軽減できる。忙しくて電話が取れないといった機会損失も防げる。